

「白浜海女まつり」と「房総の自然」撮影会

埼玉県本部は今年で25回目となる撮影会を7月15日～16日、千葉県南房総市の白浜海女まつりと市原市のぞうの国で会員76名が参加し、盛大に開催致しました。林喜一総本部理事、佐藤親正関東本部委員長、新任の石橋哲子県委員長そして22年間県本部撮影会の委員として尽力された坂巻高次顧問が参加されました。

梅雨明け前の暑い日差しのなか、午後祭り会場に到着し昼食後、野島埼灯台公園前広場で行われた数々の祭りのイベントや、灯台周辺の風景を撮影しました。日が暮れると、会場の漁港で弁財天の舞や龍神の舞などに続いて、白装束に身を包んだ数十人の海女たちが、手に松明を持って夜の海を泳ぐ幻想的な大夜泳が始まりました。特に、無数の松明が揺れる海上に水中花火が炸裂すると歓声が上がり、祭りの感動的なフィナーレの撮影に夢中になりました。また、その瞬間を宿泊先のホテル南海荘の5階から見下ろして撮影した人もおりました。

翌日は、市原ぞう(象)の国で、ぞうの行進や水浴びのショーなどに子供たちの、はしゃぐ姿を撮影し、暑い2日間の撮影会を無事終了しました。

県の会合や展覧会で顔を合わせている仲間たちですが、撮影会は、夜の部が加わり、懇親を深めることができる数少ない機会です。石橋委員長のいわれる写友の和(輪)がますます深まった感じがしました。

(新井 傳)

